

第3章 計画の基本的な考え方

1 計画の基本理念

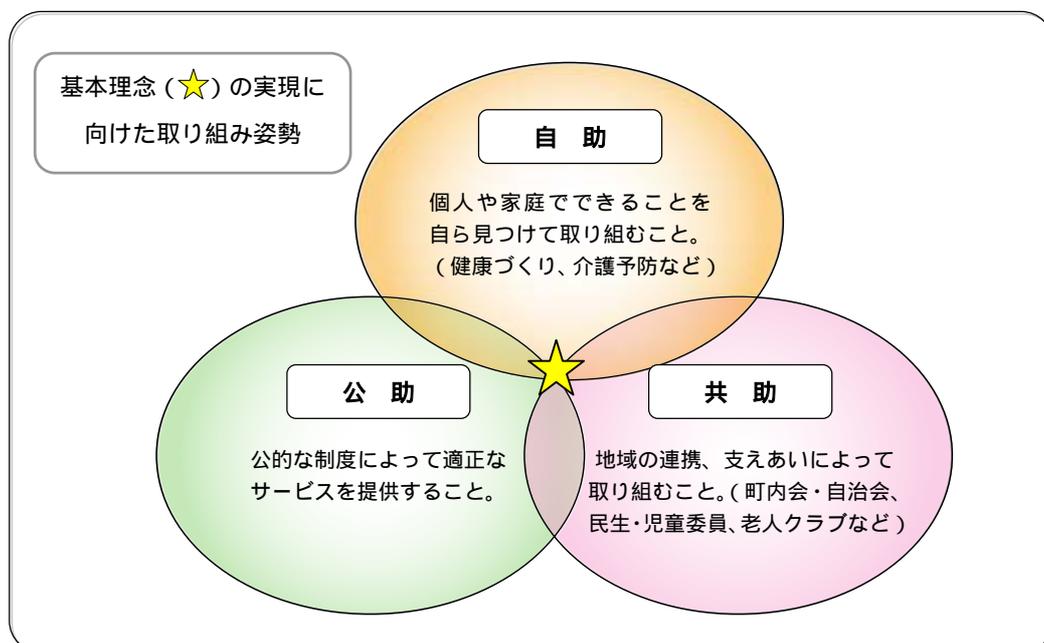
本計画では、町田市高齢社会総合計画（第4次改定版）で描かれた基本理念を継承し、「高齢者の尊厳が守られ、人生の豊かさが実感できるまち～地域で支えあい健やかで自分らしさを感じられるまちの実現～」を計画の基本理念と定め、一人ひとりの生活の中で基本理念が実現されるまちづくりに向けた取り組みを進めていきます。

< 本計画の基本理念 >

高齢者の尊厳が守られ、人生の豊かさが実感できるまち
～ 地域で支えあい健やかで自分らしさを感じられるまちの実現～

本計画では、介護、予防、医療、生活支援、住まいの5つのサービスを一体化して提供（地域包括ケア）し、高齢者が健康で生きがいを持って生活し、介護が必要になっても住み慣れた地域で自分らしく、尊厳が失われることなく、安心して生活できるまちを目指します。

基本理念を実現するためには、自助、共助、公助、それぞれが連携を図りながら取り組む姿勢が必要です。

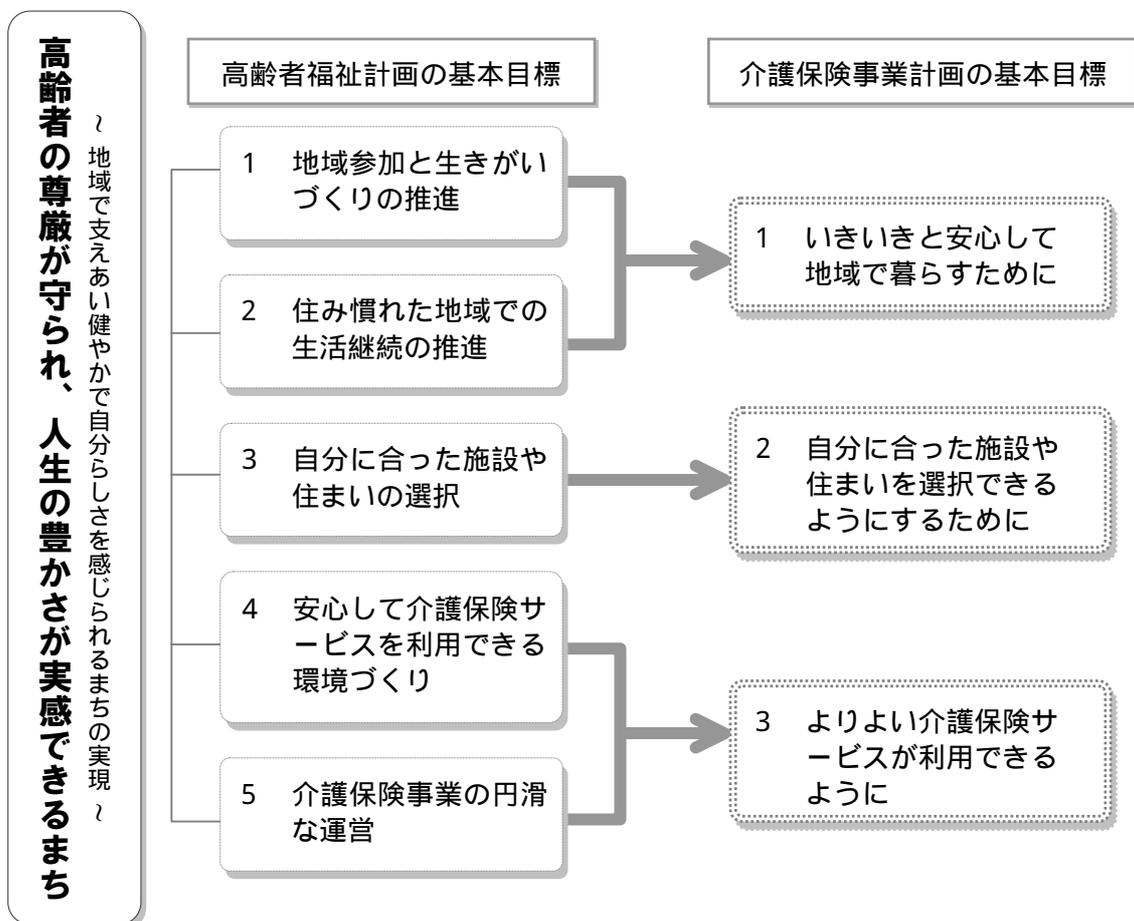


2 基本目標

町田市高齢者福祉計画では、将来像を実現していくために、現状と10年後を見据えた課題を踏まえるとともに、地域包括ケアの実現に向け、町田市高齢社会総合計画(第4次改定版)の体系を見直し、以下の5つの目標を設定して施策を進めています。

- 1 地域参加と生きがいづくりの推進
- 2 住み慣れた地域での生活継続の推進
- 3 自分に合った施設や住まいの選択
- 4 安心して介護保険サービスを利用できる環境づくり
- 5 介護保険事業の円滑な運営

本計画では、町田市高齢者福祉計画と整合を図るため、特に介護保険事業計画と関連が深い施策を整理・統合し、3つの基本目標を設定しています。



1 いきいきと安心して地域で暮らすために

社会の高齢化が進み、高齢者がますます増加する中、高齢者の方に元気でいきいきと過ごしてもらうためには、健康づくりや介護予防の取組みに参加してもらえよう支援していくことが必要です。

高齢者が、住み慣れた地域で自分らしく、自立して生活できるように、生活支援のためのサービスの充実や、高齢者支援センターの機能充実に努めます。また、高齢者が地域で安心して暮らしていけるように、認知症高齢者や家族介護者への支援を推進することで、住み慣れた地域での生活継続を推進していきます。

2 自分に合った施設や住まいを選択できるようにするために

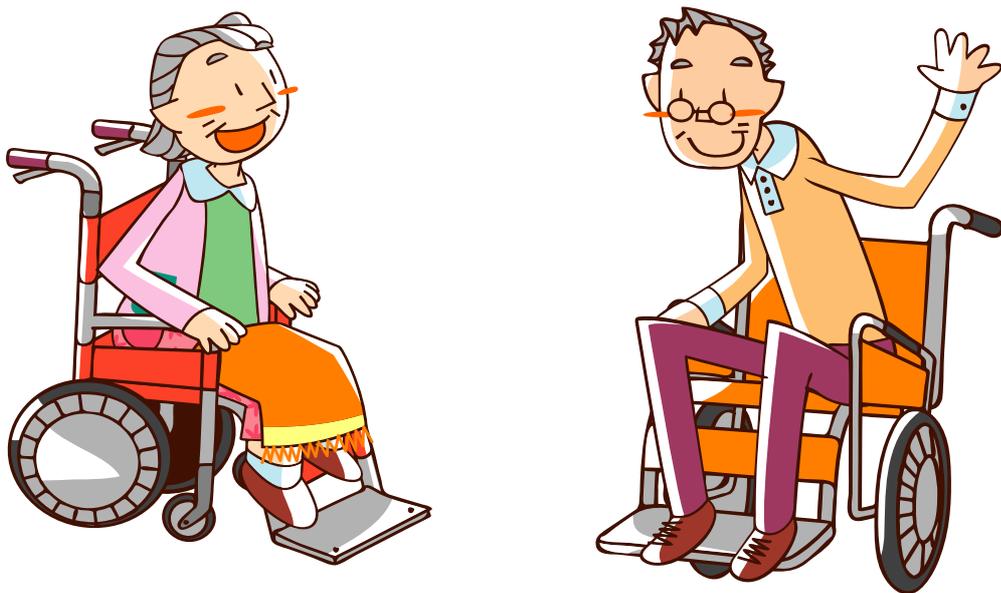
高齢化が進む中、一人ひとりの状況に応じた施設や住まいを充実させることで、高齢者が自分らしく安心した生活を送れるよう支援することが必要となっています。そのため、住み慣れた地域で利用できる「地域に密着した介護保険サービス」の提供や、在宅で生活を続けることが難しい方のための施設として特別養護老人ホームなどの「介護保険施設」の整備を図ることが重要です。また、自宅での生活に不安をもつ高齢者のための住まいについても取り組んでいく必要があります。

町田市では、高齢者が自分に合った施設や住まいを選択できるよう、支援を進めていきます。

3 よりよい介護保険サービスが利用できるように

高齢者が、介護を必要になっても、住み慣れた地域で自分らしく、安心して生活を続けるためには、介護人材の継続的な育成・確保とケアマネジメントの充実、また、それを実現する福祉職と医療職の柔軟な連携が必要です。さらに、高齢者を介護している家族の身体的・精神的負担を軽減することも、要介護者の在宅生活の継続や向上につながります。そのため、一人ひとりに合った介護が適切に利用できるよう、多様な側面からの支援を進めていきます。

さらに、介護保険事業を円滑に運営するためには、適正なサービス量の見込みの推計を実施し、介護保険料を設定していくことが必要です。また、それらの見込みの中で、介護予防事業や介護基盤の整備を実施し、高齢者が住み慣れた地域で自分らしく、安心して生活を続けられるよう支援をしていくことで、介護保険事業の円滑な運営を推進していきます。



3 計画の体系

本計画では、3つの基本目標のもと、10の基本施策を展開し、円滑な介護保険事業の運営を図ります。

(将来像)
基本理念

基本目標

基本施策

